【山崎名誉主宰の俳句】

秋はじめ

山崎　聰

すこしだけ前に出ようか五月雨

光昏の夜明けくるらし夏はじめ

ここらあたりいつしか夏もおわりけり

つと音止みぬ海猫の帰りしあとの闇

山高く八月のわが誕生日

台風下これまでのことさまざまに

あらたのし子馬ぽくぽく秋の空

とうきょうは黒雲の下赤とんぼ

鬼が棲む紅葉の山のむこうがわ

筆よりも眼鏡たいせつ文化の日